

2015 年度活動その③

水産研究所の調査船「あさま」に乗って、海洋環境調査を学ぶ 9月26日実施

天気予報によれば当日は曇り時々雨の予報で、参加者の集まりとか、活動の実施可否で気をもみましたが、雨もなく無事に予定通りに実施できました。

研究所では今までの最高見学者数が40名とのことでしたので、それに沿うように子供達40名の参加を予定していましたが、当日の急な体調不良など不参加者があり、36名の参加となりました。主催者は看護師さんを含め20名の参加となりました。

当日、鳥羽バスセンターに集合し、9時過ぎにバス1台に乗車、出発、志摩市浜島の水産研究所に向かいました。南勢海洋少年団の参加者は水産研究所で合流となりました。

水産研究所では、会議室で水産研究所の仕事の内容を聞き、その後、2グループに分かれ、研究所内の見学と、調査船「あさま」の乗船見学となりました。

研究所内では、伊勢エビの幼生を見学、衛星を使って海流や海水温度を調査・公表している様子を見学、更にはアワビや真珠を作るアコヤ貝の養殖について資料を見ながら説明を受けました。

調査船「あさま」では船の設備の説明とともに、海の水産資源の調査、海洋環境調査などをどのように行っているか見せて頂きました。

プラスチックの板に魚の絵を自分で書き、その板を加熱して縮小させ、各自の記念品としていましたが、子供たちは全員が無言で絵を描き、楽しんでいました。

午後1時に南伊勢町の下津浦に移動し、下津浦生活改善センターで昼食後、4班に分かれ、カッター・カヌー・手旗・結索体験を行いました。夫々を子供たちは楽しそうに体験していました。

4時過ぎに下津浦を出発し、5時過ぎに鳥羽バスセンターに到着、解散となりました。

休日にもかかわらず見学体験に協力頂いた三重県水産研究所の方々やカッターやカヌー体験に協力頂いた南勢海洋少年団の方々のおかげで子供たちは海や船を知る良い体験になったと思います。

以下に活動の様子を紹介します。



集合写真 下津浦



水産研究所の会議室で研究所の仕事の内容など、説明を受けました。



伊勢エビの幼生、フィロゾーマ、クモのような形にびっくり。



衛星を使って海水温度を調べ、漁船などに情報提供している様子を見学。



アワビの貝殻が緑色していたら放流したアワビであると。



調査船「あさま」に乗船。



「あさま」で海洋環境調査の様子を見せていただきました。



下津浦生活改善センターでおいしい昼食。



その後、下津浦の海岸に移動。



カッター体験



カヌー体験 転覆しないカヌーです。



手旗信号体験 ア・イ・ウ・エ・オ できたかなー。



結索（ロープの結び方）体験 簡単なようで難しい。

以上